

平成18年7月20日

放送コンテスト参加中学校長 様  
放送コンテスト担当教諭 様

群馬県小中学校教育研究会  
情報教育部会  
会 長 松 井 和 夫

## 群馬県中学校放送コンテスト兼第23回NHK杯中学校放送コンテスト 群馬県大会結果報告について

平素から本教育研究会の各種事業につきまして、御理解と御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、過日申込みいただきました放送コンテスト群馬県大会審査が下記の通り行われ、審査結果が出ましたので、入賞者一覧表・審査講評を送付いたします。後日、発送いたします入賞者への賞状・賞品等の該当生徒への配布をよろしくお願いいたします。

### 記

- 1, 日 時 平成18年7月11日(火)
- 2, 会 場 日本放送協会 前橋放送局 会議室
- 3, 主 催 群馬県小学校中学校教育研究会情報教育部会  
NHK前橋放送局 NHKサービスセンター
- 4, 審査員

#### 《教育研究会》

松井 和夫(会 長:前橋市立木瀬中学校長)  
立見 康彦(常任理事:吉岡町立吉岡中学校長)  
前原 卓 (常任理事:桐生市立新里中学校長)  
岩瀧 秀樹(理 事:東吾妻町立岩島中学校長)  
湯澤 幸男(事務局長:前橋市立南橋中学校教頭)  
後藤 一浩(書 記:渋川市立子持中学校教諭)

#### 《NHK》

佐滝 剛弘 (放送副部長)  
嶋村 由紀夫(チーフアナウンサー)

#### 5, 参加校一覧

	学校名	顧問名	アナウンス	朗読	テレビ	ラジオ	計
1	新島学園中学校	小宮山 仁	1	2			3
2	前橋市立粕川中学校	今泉 真由美		3			3
3	前橋市立南橋中学校	藤川 桂子		4			4
4	太田市立城東中学校	金澤 昌弘		1			1
5	共愛学園中学校	田口 受子	1	1			2
6	藤岡市立東中学校	金谷 佳奈子		2			2
7	吉岡町立吉岡中学校	岩田 幸恵		3			3
8	藤岡市立北中学校	櫻井 雅明		1			1
9							
		合 計	2	17	0	0	19

群馬県中学校放送コンテスト兼第23回NHK杯中学校放送コンテスト  
群馬県大会結果報告・入賞者一覧

**1 アナウンス部門**

最優秀賞 矢内 紗季 新島学園中学校3年  
【最優秀賞作品は全国大会へ推薦・出品】

**2 朗読部門**

最優秀賞 堀越 麻友子 新島学園中学校3年  
優秀賞 南 千瑛 藤岡市立東中学校3年  
当銀 祥恵 前橋市立南橋中学校2年  
小林 愛 藤岡市立北中学校2年  
【最優秀賞・優秀賞の4名は全国大会へ推薦・出品】  
優良賞 中澤 俊達 新島学園中学校1年  
小島 美咲 太田市立城東中学校2年  
糸井 光琳 前橋市立南橋中学校2年  
奨励賞 茂木 唯 共愛学園中学校2年  
大山 結衣 吉岡町立吉岡中学校2年

**3 番組制作(テレビ)部門**

該当なし

**4 番組制作(ラジオ)部門**

該当なし

## 審査講評

### 各部門共通（アナウンスメントについて）

全体的に文章の読み込み不足がみられ、文を細かく切り過ぎる（句読点以外のところで切りすぎる）傾向が多く、ただ読んでしまっている作品も見られるが、事前に黙読等を繰り返し行うことを通して、意味の解釈・文のつながりの理解を深められている作品が増えており、5作品を全国大会に推薦した。昨年同様、レベルの高い大会となった。

しかし、まだ細かく文を切ってしまうたり、助詞や語尾が伸びてしまう作品がある。滑舌をはっきりとさせ、助詞や語尾の切り方にも注意して読み込んでほしい。そのために、大きな口を開けしっかりと滑舌や発声の練習をし、本番ではそのテンションを少し下げてアナウンスすること。間の取り方や語尾の処理に気を遣うなどを今後の課題にしてほしい。

### アナウンス部門について

原稿を作成する段階で何を伝えたいのかを考え、ねらいを絞った作品が少なかったのが残念である。身近なところに素材を探し、具体的にうたえていくことが大切である。

アナウンスメントについては、上記アナウンスメントを参考にされたい。中でも矢内さん（新島中）は、声が良く出ており、長い意味のまとまりをよくつかんでアナウンスができていた。

### 朗読部門について

ほとんどの作品の録音状態は良好であったが、バックノイズ（部活動中の生徒の声等）が貼っている作品が数点あった。録音をする場合は、静かな場所で行ってほしい。また、読み違ったまま出品した作品も数点見られた。せっかくの作品なので、ぜひ取り直しをしてもらいたい。

また、朗読に関する総合的な講評としては、本の中味をよく読んで腑に落としてから、わいてくる情感を大切に、それをどう伝えるかという伝えたいという気持ちを大切に、朗読をしてほしい。そもそも朗読とは、読んで自分が気持ちよくなるものではなく聞いてもらうためのもの、聞いてわかるようにその情景や感情などの内容をしっかりと伝えられるかが大切となる。NHKラジオには朗読番組【「私の本棚」ラジオ第一 月～金 11:00 台 「ラジオ文芸館」ラジオ第一 日曜日 22:15～22:55】があるので参考に聞いてほしい。また、もっと声を出すために、体を使った発声をしてほしい。

堀越さん（新島中）はよく声が出ており、表現力のある朗読を行っていた。南さん（藤岡東中）は2年生ながらよく声が出ており、大人びた声でよい表現を行っていた。當銀さん（南橘中）はよい発声で声がよく出ており、「」内文章を聞かせる表現力にすばらしいものがある、内容をよくつかんだ朗読であった。来年が期待できる。また、小林さん（藤岡北中）もしっかりとした読みができており、今後に期待できる。

しかし、まだまだ、文章を短く区切って読む傾向が見られたのは、残念であった。朗読の場合、文字を追って読んでしまっただけでは朗読によるよさは伝わらない。いかに繰り返し読み込み、自分をその文に没頭させていくかが大切な点である。

そのほかは、上記アナウンスメントの講評を参考にされたい。

### 応募に関して

例年、応募に関して全国大会事務局からも通達がきており、本県要項にも謳っておりますが、応募の際には全国大会要項を確認してください。特に、カセットレーベルの作成・添付についてのミスが例年目立っております。

また、作品録音の際はくれぐれも、静かな場所での外部マイクを使用しいた録音をお願いいたします。せっかくの作品に他の生徒の声が混じることが多々見られ、残念なものも多々あります。